

第3次大津市文化振興計画 進捗状況調査票

番号	部局	所属	事業名	目的	事業概要	事業規模 (入場者数、スタッフの数等) ※令和3年度時点で聞き取った内容です。	計画との関連			令和6年度						
							基本目標	施策	主な取り組み	実施状況	始期、終期(予定)	目標	実績	評価	事業費(千円)	成果と課題、令和6年度の取組内容
1	市民部	文化振興課	大津市文化団体派遣事業	・市内文化団体の活動の場の提供 ・市民への文化芸術鑑賞機会の提供	学校や公民館等が開催する演奏会や講演会などに、大津市文化連盟に加盟している芸術文化団体団体等を派遣し、活動してもらうことにより、地域を元気にするとともに、文化活動の裾野を広げる。	各回派遣5人程度×36回	1 文化芸術に親しむ場づくり	(1)誰もが文化芸術に親しめる環境の充実	①誰もが文化芸術に親しむ機会の創出	維持・推進	(R3 ～)	派遣回数:40回 参加者数:1,000人	派遣回数:25回 参加者数:1,977人	C(20～50%達成)	560	昨年度よりも派遣回数が増加し、事業利用者・参加者からの実施満足度も高かった。その一方で、実際に派遣した団体は19団体中8団体であり、派遣団体の偏りが生じた。
2	市民部	文化振興課	民間のノウハウを生かした文化施設の運営/自主事業の実施	・民間のノウハウを生かした有効な施設運営と活用 ・市内文化団体・個人の活動の場の提供 ・市民への文化芸術鑑賞・体験機会の提供	指定管理者制度を導入している3施設(大津市民会館、スカイプラザ浜大津、大津市伝統芸能会館)にて、貸館事業、指定自主事業及び指定管理者独自の自主事業を展開する。	【利用人数】 市民会館:56,823人 スカイプラザ浜大津:60,985人 伝統芸能会館:8,237人 【自主事業実施回数】 市民会館:28回 スカイプラザ浜大津:17回 伝統芸能会館:9回	1 文化芸術に親しむ場づくり	(1)誰もが文化芸術に親しめる環境の充実	①誰もが文化芸術に親しむ機会の創出	維持・推進	市民会館 (R6 ～ R8) スカイプラザ浜大津 (R2 ～ R6) 大津市伝統芸能会館 (R2 ～ R6) ※現指定管理者の指定期間	【利用者数】 市民会館:70,000人 スカイプラザ浜大津:60,000人 伝統芸能会館:15,000人 【利用人数】 市民会館:90,618人 スカイプラザ浜大津:75,380人 伝統芸能会館:11,597人 【自主事業実施回数】 市民会館:23回 スカイプラザ浜大津:13回 伝統芸能会館:15回	【利用人数】 市民会館:90,618人 スカイプラザ浜大津:75,380人 伝統芸能会館:11,597人 【自主事業実施回数】 市民会館:29回 スカイプラザ浜大津:15回 伝統芸能会館:10回	A(80%以上達成)	市民会館:58,940人 スカイプラザ浜大津:17,700人 伝統芸能会館:16,465人	令和5年度と比べ、指定管理3施設とも利用者数が増加しており、今度も利用者のニーズを的確に把握する必要がある。 施設管理については、利用者が安心・安全に施設を利用できるよう、軽微な施設修繕が迅速に実施されている。 自主事業については、今後、指定管理者主催事業の積極的な計画や事業内容の充実、実施回数の拡充が求められる。 ※市民会館はR6年度から、スカイプラザ浜大津・伝統芸能会館はR7年度から指定管理者を更新する。
3	市民部	文化振興課	アウトリーチ事業の推進					事業実施の実績無しのため記載なし								
4	市民部	文化振興課	美術展、写真展、文化祭	市民が日頃から自主的に展開している文化活動の成果を発表・鑑賞するとともに、誰もが文化芸術に親しむ機会を創出し、多様な主体や世代等による交流や相互理解を促進することで、市民文化の向上に資する	【大津市美術展覧会】 日本画、洋・版画、彫刻、工芸、書の5部門で作品を公募し、審査を経て入選した作品を展示する。 期間中には作品講評会等を開催し、芸術に親しむ市民の裾野の拡大に努める。 【大津市写真展覧会】 写真作品を公募し、審査を経て入選した作品を展示する。また、期間中に審査員による講演会を開催し、写真に親しむ市民の裾野の拡大に努める。 【大津市文化祭】 オープニングセレモニー 出演団体数:18団体 入場者数:400人 ※R3はコロナで中止したため、R4実績 〈短歌・俳句大会〉 応募数:4,598点 〈湖都の文学〉 応募数:269点 〈各学区・芸術文化団体文化祭〉 参加団体数:29団体 入場者数:9,042人	【大津市美術展覧会】 出品数:339点 入場者数:1,343人 【大津市写真展覧会】 出品数:284点 入場者数:1,011人 【大津市文化祭】 〈オープニングセレモニー〉 出演団体数:18団体 入場者数:400人 ※R3はコロナで中止したため、R4実績 〈短歌・俳句大会〉 応募数:4,598点 〈湖都の文学〉 応募数:269点 〈各学区・芸術文化団体文化祭〉 参加団体数:29団体 入場者数:9,042人	1 文化芸術に親しむ場づくり	(1)誰もが文化芸術に親しめる環境の充実	②誰もが文化芸術を表現する機会の充実	維持・推進	【大津市美術展覧会】 (S25 ～) 【大津市写真展覧会】 (S52 ～) 【大津市文化祭】 (S22 ～)	【大津市美術展覧会】 出品数:350点 入場者数:1,400人 【大津市写真展覧会】 出品数:300点 入場者数:1,100人 【大津市文化祭】 〈オープニングセレモニー〉 出演団体数:18団体 入場者数:500人 〈短歌・俳句大会〉 応募数:4,600点 〈湖都の文学〉 応募数:300点 〈各学区・芸術文化団体文化祭〉 参加団体数:54団体 入場者数:15,000人	【大津市美術展覧会】 出品数:256点 入場者数:1,356人 【大津市写真展覧会】 出品数:246点 入場者数:1,073人 【大津市文化祭】 〈オープニングセレモニー〉 出演団体数:19団体 入場者数:565人 〈短歌・俳句大会〉 応募数:3,844点 〈湖都の文学〉 応募数:221点 〈各学区・芸術文化団体文化祭〉 参加団体数:43団体 入場者数:30,741人	B(50～80%達成)	8,244	美術展、写真展、文化祭のすべてで出品者や出演者の層が固定化されており、高齢化が顕著である。今後は、高校や大学等への周知を積極的に行うなど、特に若年層の参加を促す試みが必要である。
5	市民部	文化振興課	障害者団体への文化活動のサポート	障害の有無に関わらず、誰もが容易に文化芸術活動、表現活動を行うことができる環境づくりを推進する。	後援、文化施設の先行予約を承認することで、障害者団体の文化活動のサポートを行う。	—	1 文化芸術を支える人づくり	(1)誰もが文化芸術に親しめる環境の充実	②誰もが文化芸術を表現する機会の充実	維持・推進	—	—	後援1件 スカイプラザ浜大津の先行予約1件	C(20～50%達成)	—	文化振興の上で、障害者団体との関わり方が、後援と文化施設の先行予約の承認に留まっている。 市内では、障害者で構成された劇団と、健常者で構成された劇団が一緒に作り上げた劇の公演等が行われ、障害者は支援されるだけではなく、発信する立場にもなることができることを発信し、相互理解の醸成に努められており、市としても今後、積極的な関わり方を検討していく必要がある。
6	市民部	文化振興課	大津市の文化資源等の情報を掲載するサイトの開設					事業実施の実績無しのため記載なし								
7	市民部	文化振興課	地域文化の情報収集と活用のための地域との連携					事業実施の実績無しのため記載なし								
8	市民部	文化振興課	文化賞の授与	本市の文化向上に著しい功績のあった個人・団体を表彰し、大津市の文化振興への更なる貢献を期待する。	毎年、永年にわたり文化活動に従事し、文化の向上と振興に特に著しい功績のあった方に対して「大津市文化賞」を、その中でも特に高い水準に達している方に対して「大津市文化特別賞」を、文化活動に従事し優れた功績のあった方でその活動において将来を期待される方に対して「大津市文化奨励賞」を、それぞれ授与する。	【受賞者数】 大津市文化賞:3人 大津市文化奨励賞:3人 大津市文化特別賞:1人	2 文化芸術を支える人づくり	(1)文化芸術の担い手、つなぎ手の育成・支援	①文化芸術を担う人材、団体の育成・支援	維持・推進	(S63 ～)	—	【受賞者数】 大津市文化特別賞:2人 大津市文化賞:2人 大津市文化奨励賞:3人+1団体	A(80%以上達成)	181	令和6年度は、俳人1人、三味線奏者1人に文化特別賞、民謡の音頭取り1人、小説家1人に文化賞、大学准教授1人、ピアニスト2人、文化団体1団体に文化奨励賞の授与を行った。
9	市民部	文化振興課	文化芸術団体補助事業	大津市文化祭事業として市内全域を対象に催される音楽や伝統舞踊など芸術文化の舞台公演や、茶道や華道など伝統文化の展示活動、文芸活動に対して支援する。 このことにより市民文化の向上や個性豊かで活力あふれる地域づくりに貢献するとともに、本市の文化振興の推進を図る。	芸術文化団体の大津市文化祭参加事業に係る経費の補助 ・文化祭会場設営に係る経費 ・講師等に係る経費 ・パンフレット作成等広報活動費 ・事務用消耗品費	【補助対象者】 大津市文化連盟(芸術文化16団体が加入) (経費の1/2を補助、1団体当たり上限56,000円)	2 文化芸術を支える人づくり	(1)文化芸術の担い手、つなぎ手の育成・支援	①文化芸術を担う人材、団体の育成・支援	維持・推進	(H26 ～) ※補助金適正化後	—	14件(全16件中) 658,229円	A(80%以上達成)	659	おおむね令和5年度の水準で各団体が活動された。
10	市民部	文化振興課	文化関連事業の共催、後援、賞の授与	・市内文化団体の活動の場の提供 ・市民への文化芸術鑑賞・体験機会の提供 ・文化芸術の担い手の育成	文化関連事業の共催、後援、賞の交付を行うことで、市民の文化芸術活動が活発に行われるよう支援するとともに、誰もが身近に文化芸術に触れることができる環境を充実させる。	共催:4件 後援:109件 賞の交付:20件	2 文化芸術を支える人づくり	(1)文化芸術の担い手、つなぎ手の育成・支援	①文化芸術を担う人材、団体の育成・支援	維持・推進	—	共催:4件 後援:130件 賞の交付:20件	共催:5件 後援:137件 賞の交付:17件	A(80%以上達成)	360	後援名義・賞の交付の申請件数については、概ね令和5年度並みであった。 共催事業については、令和5年度に実施した「びわ湖大津淡海節全国大会」、「大津ジャズフェスティバル」、「「わたしの打った能面」展」、「青春21文字のメッセージ」に加えて、県との共催で「令和6年度滋賀県障害者等の文化芸術活動を支える拠点づくり事業」の計5事業を実施した。

第3次大津市文化振興計画 進捗状況調査票

番号	部局	所属	事業名	目的	事業概要	事業規模 (入場者数、スタッフの数等) ※令和3年度時点で聞き取った内容です。	計画との関連			令和6年度						
							基本目標	施策	主な取り組み	実施状況	始期、終期(予定)	目標	実績	評価	事業費(千円)	成果と課題、令和6年度の取組内容
11	市民部	文化振興課	市文化連盟補助事業	大津市文化連盟が行う文化活動顕彰事業や大津文化を掲載した機関紙発行事業、市民参加型の文化事業などについて支援する。 このことにより市民文化の向上や個性豊かで活力あふれる地域づくりに貢献するとともに、大津市の文化振興の推進を図る。	大津市文化連盟の文化事業に係る経費に対する補助 ・文化表彰に係る経費 ・文化事業に係る経費 ・パンフレット作成等広報活動費 ・事務用消耗品費	【補助対象者】 大津市文化連盟 (経費の1/2を補助、上限175,000円)	2 文化芸術を支える人づくり	(1)文化芸術の担い手、つなぎ手の育成・支援	②他分野や他団体等との連携を促進するつなぎ手の育成・支援	維持・推進	(H26 ～)	—	1件(全1件中) 175,000円	A(81%以上達成)	175	文化活動顕彰事業や連盟に加盟する芸術文化団体の近況を掲載した機関紙発行事業等については例年実施されているものの、市民参加型の文化事業については、実施できていない。 高齢化に伴い、各団体の活動も縮小傾向であるが、大津市の文化芸術振興の担い手、つなぎ手として、連盟の活動内容の見直しが必要。
12	市民部	文化振興課	民間のノウハウを活用した人材育成研修	民間のノウハウを活用し、文化芸術活動を行う人材や、活動を支える人の活躍の場を広げるとともに、次世代を担う子どもや若者が、身近に文化芸術に触れることができる環境を充実することにより、地域の文化芸術の担い手となる人材を育てていく。	大津市民会館指定管理者による「市民育成事業」を実施(自主事業) ①舞台マネジメント講座「大人の舞台体験・探索ツアー」 実施日時:2025年3月2日(日) 参加対象:高校生以上 ②市民のためのアートマネジメント「笑声deコミュニケーション」講座 実施日時:2025年3月22日(土) 参加対象:高校生以上	—	2 文化芸術を支える人づくり	(1)文化芸術の担い手、つなぎ手の育成・支援	②他分野や他団体等との連携を促進するつなぎ手の育成・支援	維持・推進	(R3 ～)	①定員:10名 ②定員:20名	①舞台マネジメント講座「大人の舞台体験・探索ツアー」参加人数:1名 ②市民のためのアートマネジメント「笑声deコミュニケーション」講座参加人数:3名	D(20%未満達成)	指定管理者の自主事業の一環として実施しているため、個別の事業費は不明	司会やホールのスタッフの技術を経験できる講座を開催した。多少マニアックな内容のため、講座によっては参加人数こそ募集定員の半数程度であったが、受講者からは大変好評であった。今後は幅広い参加者が見込めるように内容の充実について検討する必要がある。
13	市民部	文化振興課	共催団体等との連携による人材育成支援					事業実施の実績無しのため記載なし								
14	市民部	文化振興課	子ども向け指定自主事業	次世代を担う子どもや若者がすぐれた文化芸術に触れる機会を提供し、子どもの文化芸術に対する関心を高め、豊かな心を育む	指定管理施設2施設(スカイプラザ浜大津、大津市伝統芸能会館)にて、子どもを対象とした指定自主事業(市から実施内容を指定する事業)を実施し、文化芸術を担う人材を育成する。	—	2 文化芸術を支える人づくり	(2)未来を担う子どもへの文化活動の促進	①子どもが文化芸術に親しむ機会の創出	維持・推進	(R2 ～ R6) ※スカイプラザ浜大津、伝統芸能会館の現指定管理期間	—	—	C(20～50%達成)	指定管理者の自主事業の一環として実施しているため、個別の事業費は不明	スカイプラザ浜大津では、子どもを主な対象とする文化芸術の鑑賞事業を実施することとしており、9月と12月に誰でも参加可能な「誰でも気軽に参加できるカメラ塾」を開催し、87人が参加した。 伝統芸能会館では、大津市立小学校児童を対象とした能・狂言の上演家等を講師とする鑑賞・体験事業を実施することとしていたが、未実施であった。 今後は、より子どもに特化した事業を積極的に計画し、充実させる必要がある。
15	市民部	文化振興課	子どもの作品展示事業	次世代を担う子どもたちが文化に触れる機会を創出し、豊かな個性と創造力の育成を目指す	大津市美術展覧会・写真展覧会と同時期に、同会場にて「セタ」をテーマとした作品を市立幼稚園の園児から募集し、子どもたちによる小さな作品展「集まれ！小さな芸術家！大津っ子作品展」を開催する。	出品数:約200点	2 文化芸術を支える人づくり	(2)未来を担う子どもへの文化活動の促進	①子どもが文化芸術に親しむ機会の創出	維持・推進	(H28 ～)	—	出品数:200点	A(80%以上達成)	—	市立幼稚園29園の5歳児を対象として作品募集を行った結果、全園から出品をいただいた。歴史博物館2階ロビーにて、美術展及び写真展の会期中に作品展示を実施し、市展・写真展の作品鑑賞にもつながった。
16	市民部	文化振興課	伝統文化親子教室の実施	本市の子どもたちが身近な場所でさまざまな伝統文化を体験できる機会を提供し、伝統文化へのより深い理解と興味喚起を図ることで、伝統文化の将来を担う鑑賞者、活動者の基盤を広げることに繋げる。	子どもたちが短時間(1日)で気軽に伝統文化を体験できる場として、9つの体験教室を開催する。「狂言、生け花、お箏・能、和装礼法、日本舞踊、将棋、俳句、茶道」といった多彩な伝統文化から興味のある教室を選んで体験できる初心者向けの体験教室を実施。	1日で9つの体験教室を実施。	2 文化芸術を支える人づくり	(2)未来を担う子どもへの文化活動の促進	②子どもが文化芸術を表現する機会の充実	維持・推進	(H26 ～)	—	参加者:142人	A(80%以上達成)	510	大津市の持つ施設を活用し、子どもたちが短時間で気軽に伝統芸能を体験できる機会を提供することで、伝統文化への理解と興味喚起を図ることができ、1日体験者が興味を持ち、次年度以降も開催する伝統文化親子教室(教室実施型)(半年間)へ継続して参加することにもつながった。
17	市民部	文化振興課	文化祭開催事業、学区文化祭補助事業	大津市文化祭事業として、学区ごと(全36学区)に催される音楽や舞踊などの舞台発表や、茶道体験、筆道展示などの様々な文化活動に対して支援する。 このことにより市民文化の向上や個性豊かで活力あふれる地域づくりに貢献するとともに、本市の文化振興の推進を図る。	学区文化祭実行委員会等の大津市文化祭参加事業に係る経費の補助 ・文化祭会場設置に係る経費 ・展示発表等に係る経費 ・パンフレット作成等広報活動費 ・事務用消耗品費	【補助対象者】 大津市文化連盟(地域文化26団体)が加入)及び学区文化祭を主催する団体(11団体) (経費の1/2を補助、1団体当たり上限56,000円)	2 文化芸術を支える人づくり	(1)文化芸術の担い手、つなぎ手の育成・支援	①文化芸術を担う人材、団体の育成・支援	維持・推進	(H26 ～)	—	30件(全32件中) 1,221,602円	A(80%以上達成)	1,222	文化祭を実施した団体数は令和5年度と同等であった。文化祭を主催する文化団体や担い手が不在であることから、文化祭を中止と判断した学区もあった。
18	市民部	文化振興課	民間のノウハウを活用した配信事業、配信等支援事業の実施	・民間のノウハウを活用した文化芸術情報の発信 ・市内における様々な文化芸術資源の情報化の促進	指定管理施設において、文化関連事業動画等の配信を行い、活動団体への支援や施設への誘客につなげる。	実施施設:2施設 (大津市民会館、スカイプラザ浜大津で随時実施)	3 文化芸術を活性化させる仕組みづくり	(1)文化芸術活動の情報発信	②デジタル技術を活用した文化情報の発信	維持・推進	市民会館(R6 ～ R8) スカイプラザ浜大津(R2 ～ R6) ※現指定管理期間	—	実施事業数 市民会館:4事業 スカイプラザ浜大津:3事業	A(80%以上達成)	指定管理者の自主事業の一環として実施しているため、個別の事業費は不明	市民会館では、「湖都ココチャンネル」(大津市民会館・大津公民館公式YouTubeチャンネル)で随時、主催事業や施設で活動する団体の文化芸術活動を発信している。 スカイプラザ浜大津では、当施設を年間レギュラー使用されている方にライブ公演の機会を確保することを目的とした「ライブ開催支援事業」を計3回実施し、約300名の参加があった。 動画配信については、今後更なる内容の充実及び更新頻度の向上を目指す。
19	市民部	文化振興課	SNS等を活用した文化情報の発信	若年層が文化芸術に親しむ機会の創出	大津市公式LINEで文化関連事業や文化芸術振興に関わるトピックについて発信する。	配信件数:2件 ※令和3年度は実績が無いため、令和4年度実績	3 文化芸術を活性化させる仕組みづくり	(1)文化芸術活動の情報発信	②デジタル技術を活用した文化情報の発信	維持・推進	(R4 ～)	配信件数:20件	配信件数:21件	A(80%以上達成)	—	回遊型コラボレーション事業、市展・写真展、文化祭オープニングセレモニー、湖都の文学、短歌・俳句大会、伝統文化親子教室、源氏物語関連事業、共催事業についてLINE配信を行った。作品募集やイベント開催のタイミングで随時LINE配信を実施した結果、令和4年度よりも配信回数が増加した。 今後も課として実施している全ての文化関連事業についてLINE配信を行い、その他SNSの積極的な導入についても検討する。

第3次大津市文化振興計画 進捗状況調査票

番号	部局	所属	事業名	目的	事業概要	事業規模 (入場者数、スタッフの数等) ※令和3年度時点で聞き取った内容です。	計画との関連			令和6年度						
							基本目標	施策	主な取り組み	実施状況	始期、終期(予定)	目標	実績	評価	事業費(千円)	成果と課題、令和6年度の取組内容
20	市民部	文化振興課	回遊型コラボレーション事業	・市内文化施設を訪れる機会の創出 ・文化芸術に親しむ機会の提供	大津市美術展覧会・写真展覧会の開催に合わせ、夏休み期間中に周辺の文化施設において文化イベントを実施すると同時にスタンプラリーを行うことにより、人の流れをつくり、文化の力でにぎわいを生み出す。	スタンプラリー対象施設:8施設 企画イベント数:文化振興課2件 及び各施設:2～3件	3 文化芸術を活性化させる仕組みづくり	(2)関連分野、他分野との連携と創造的な文化活動への支援	①既存事業や文化施設等の連携による有機的な繋がり促進	維持・推進	(H29 ～)	企画イベント数:3件	企画イベント数:2件	B(50～80%達成)	433	令和5年度に引き続き、美術展・写真展の開催日～8月末までを期間として、大津市歴史博物館、スカイプラザ浜大津、長等創作展示館・三橋節子美術館、大津市伝統芸能会館、大津市民会館、大津祭曳山展示館、大津市立図書館、大津市埋蔵文化財調査センターの計8施設をめぐるスタンプラリーを実施した。令和6年度は試験的にデジタルスタンプラリーという形で実施した。期間中には子どもを対象とした企画イベントとして、伝統芸能会館で能の体験教室を、市民会館で狂言の体験教室を開催し、多くの親子にご参加いただいた。
21	市民部	文化振興課	学校等と連携した文化芸術体験機会の提供					事業実施の実績無しのため記載せず								
22	福祉部 子ども未来局	幼保支援課	地域活動事業 (保育園)	・地域の歴史や伝統文化、芸術等に触れ、文化への関心や地域への愛着心を育む ・豊かな感性や道徳心、人とかかわる力を育む	地域の老人クラブ等との芸術観賞、伝統行事や伝承あそびの体験。史跡や文化施設訪問、地域の民話や歴史を聴く、地域文化継承者との交流など。	公立保育園(14か園)×年6～20回程度	2 文化芸術を支える人づくり	(2)未来の担い手を担う子どもへの文化活動の促進	①子どもたちが文化芸術に親しむ機会の創出	維持・推進	(H1 ～)	—	派遣回数:101回 参加者数:3,574人	A(80%以上達成)	180	コロナ明け以降、各園とも活発に事業を開催してる。おはなし会や人形劇などの芸術鑑賞、太鼓演奏や楽団の音楽鑑賞が実施された。
23	福祉部 子ども未来局	幼保支援課	学校支援総合推進事業 (幼稚園)	・地域の歴史や伝統文化、芸術等に触れ、文化への関心や地域への愛着心を育む ・豊かな感性や道徳心、人とかかわる力を育む	・地域の人材活用 ・世代間の交流 ・地域の自然や環境の活用 ・地域の伝統、文化に触れる体験 ・音楽鑑賞や観劇など、芸術に触れる体験等、特色ある教育活動の推進	公立幼稚園(29園)で実施	2 文化芸術を支える人づくり	(2)未来の担い手を担う子どもへの文化活動の促進	①子どもたちが文化芸術に親しむ機会の創出	維持・推進	(H23～)	—	派遣回数:64回 参加者数:3,036人	A(80%以上達成)	280	各園で地域人材を活用した子どもの安心・安全、又、豊かな体験となる事業が実施された。また、広域から団体や講師を招聘し芸術鑑賞や文化に触れる体験も実施された。
24	産業観光部	観光振興課	歴史的建造物の資料館などとしての活用	歴史的建造物の資料館などとして活用することにより、坂本の歴史や文化を知ってもらう機会を創出し、比叡山とその山麓及び山王祭による本市観光振興の推進に寄与する。	延暦寺の里坊であった旧竹林院や山門公人の住居であった旧岡本家住宅主屋ほかといった歴史的建造物を活用し、坂本の歴史や文化についての情報発信の拠点などとして活用する。	・旧竹林院及び公人屋敷の入館者数(30,482人／R3年)	3 文化芸術を活性化させる仕組みづくり	(2)関連分野、他分野との連携と創造的な文化活動への支援	①既存事業や文化施設等の連携による有機的な繋がり促進	維持・推進	(R4 ～ R9)	入込数 旧竹林院:47,824人 公人屋敷:3,000人	令和6年度入込数 旧竹林院:61,792人 公人屋敷:2,459人	A(80%以上達成)	旧竹林院:280 公人屋敷:383	歴史的建造物を守るため、利用マナーブックを作成し入館者に配布する取組を実施した。坂本の歴史や文化についての情報発信の拠点として付加価値の創出が課題である。
25	産業観光部	観光振興課	祭行事の開催費用の補助	大津三大祭等の行事開催を支援することにより、伝統的な祭行事、活動の継承につなげ、本市観光振興の推進に寄与する。	市内各地で行われる大津三大祭をはじめとする祭行事は本市の歴史的観光資源である。そのなかでも特に本市観光振興に寄与すると思われる祭行事の開催に要する経費に対し、補助金を交付する。	・大津三大祭の入込客数(2,000人／R3年)	1 文化芸術に親しむ場づくり	(2)豊かな歴史文化資源の調査研究と保存・活用	②歴史文化資源の保存と活用	維持・推進	(R3 ～)	—	令和6年度入込数 山王祭:100千人 船幸祭:30千人 大津祭(宵宮):45千人 (本祭):135千人		15,538	【大津祭】感染症流行前と同水準で曳山巡行を実施した。 【日吉山王祭】感染症流行前と同水準で神事や神輿渡御等を実施した。 【船幸祭】前年に引き続き船渡御、奉納花火を実施した。 人件費や物件費が上昇している状況が課題であり、各事業者には自主財源の確保を促していく方針である。
26	産業観光部	観光振興課	競技かるた等の大津ならではの文化資源を活かした事業の実施	百人一首の巻頭歌を詠んだ天智天皇をご祭神とする近江神宮において、競技かるた日本一を決める大会等が開催されることから、大津ならではの観光資源として「百人一首かるた」を活かした観光振興に取り組む。	「百人一首かるた」ゆかりの地に関する情報発信や市内で開催される大規模な競技かるた大会への協力、地域のかるた会が主催するかるた体験アシスタント講座への後援等を実施。	・近江神宮および近江勸学館の観光入込客数(371,053人／R3年)	3 文化芸術を活性化させる仕組みづくり	(2)関連分野、他分野との連携と創造的な文化活動への支援	②他分野(観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業等)との連携	維持・推進	(R3 ～)	—			400	おおつ光ルくん杯実行委員会に参画し、負担金を支出している。 主な取組として、令和6年度は百人一首競技かるた団体戦及びそれに付随する謎解きイベントを実施した。
27	市民部	自治協働課	大津市パワーアップ・まちづくり活動応援事業	学区自治団体等が地域の課題解決やまちの活性化を図るために実施する主体的なまちづくり活動に対して補助金を交付することで、協働のまちづくりを推進する。	「トライアップ部門」におけるテーマの1つとして「歴史・文化」を設定し、魅力ある歴史・文化活動に対して補助金を交付する。 ※「トライアップ部門」は令和6年度より廃止	補助金交付	2 文化芸術を支える人づくり	(1)文化芸術の担い手、つなぎ手の育成・支援	①文化芸術を担う人材、団体の育成・支援	維持・推進	(R4 ～ R5)	-	22件 (単独開催19件、2学区以上での共同開催3件)	B(50～80%達成)	2437千円	令和5年度は、「パワーアップ・まちづくり活動応援事業」として、市民団体を補助金の交付対象としており、「トライアップ部門」のテーマの一つとして文化に関することを設けていましたが、令和6年度から「パワーアップ・地域活動応援事業」として補助金の交付対象を自治連合会等の学区自治団体のみにしたことから、「トライアップ部門」も廃止となったため、文化に関する項目がなくなりました。
28	市民部	文化財保護課	文化財の調査研究	・未調査の文化財の悉皆的調査を行い、文化財の現状の把握と保存・活用につなげる。 ・新たな文化財の発見により、地域の活性化につなげ、文化財の保存継承に資する。	・市内の神社や地域に残る未調査文化財の悉皆調査及び保存・活用のための基礎資料作成 ・地域に埋もれている文化財を調査・研究し、その歴史に新たな光を当てる。	未指定文化財(文化財保護課)調査回数20件(歴史博物館)	1 文化芸術に親しむ場づくり	(2)豊かな歴史文化資源の調査研究と保存・活用	①歴史文化資源の調査・研究による価値の明確化	維持・推進	—				109	・和邇地域での祭礼(和邇祭)を調査した。 ・地域で守り伝えられてきた有形・無形文化財は後継者不足等により継承の危機にあり、早急な調査が必要である。
29	市民部	歴史博物館	文化財の調査研究	・未調査の文化財の悉皆的調査を行い、文化財の現状の把握と保存・活用につなげる。 ・新たな文化財の発見により、地域の活性化につなげ、文化財の保存継承に資する。	・市内の神社や地域に残る未調査文化財の悉皆調査及び保存・活用のための基礎資料作成 ・地域に埋もれている文化財を調査・研究し、その歴史に新たな光を当てる。	未指定文化財(文化財保護課)調査回数20件(歴史博物館)	1 文化芸術に親しむ場づくり	(2)豊かな歴史文化資源の調査研究と保存・活用	①歴史文化資源の調査・研究による価値の明確化	維持・推進	—	調査回数20件(歴史博物館)	23件(歴史博物館)	A(80%以上達成)	285	・石山寺を中心に多くの宗派の寺社を調査することができた。 ・従来、地域で守り伝えられてきた有形・無形文化財が、継承できなくなりつつある。
30	市民部	文化財保護課	調査報告書等の発行	大津市内で実施した埋蔵文化財調査結果についての報告書を作成し、関係機関に配布することによって、大津市の文化財について広く知ってもらう。(文化財調査成果の市民への還元)	・開発事業に先立ち、文化財保護法の規定に基づき、埋蔵文化財の発掘調査を実施し、調査結果の報告書を作成する。 未指定文化財の調査成果を、報告書を刊行することで、広く市民に公開する。	毎年約8ヵ所の発掘調査を実施し、報告書を作成 大津市埋蔵文化財調査年報年間4冊(歴史博物館)	1 文化芸術に親しむ場づくり	(2)豊かな歴史文化資源の調査研究と保存・活用	①歴史文化資源の調査・研究による価値の明確化	維持・推進	(S47 ～)	10冊(文化財保護課)	7冊(文化財保護課)	B(50～80%達成)	2,194	発掘調査の調査報告書を6冊、大津市埋蔵文化財調査年報を1冊刊行した。
31	市民部	歴史博物館	調査報告書等の発行	大津市内で実施した埋蔵文化財調査結果についての報告書を作成し、関係機関に配布することによって、大津市の文化財について広く知ってもらう。(文化財調査成果の市民への還元)	・開発事業に先立ち、文化財保護法の規定に基づき、埋蔵文化財の発掘調査を実施し、調査結果の報告書を作成する。 未指定文化財の調査成果を、報告書を刊行することで、広く市民に公開する。	毎年約8ヵ所の発掘調査を実施し、報告書を作成 大津市埋蔵文化財調査年報年間4冊(歴史博物館)	1 文化芸術に親しむ場づくり	(2)豊かな歴史文化資源の調査研究と保存・活用	①歴史文化資源の調査・研究による価値の明確化	維持・推進	(S47 ～)	4冊(歴史博物館)	3冊(歴史博物館)	A(80%以上達成)	800	・歴史系の報告書1冊、美術系の報告書2冊を刊行した。
32	市民部	歴史博物館	歴史博物館企画展の開催	大津の文化財や地域の歴史に触れる機会の創出	年2～3回、大津の歴史や文化を啓発する多様な展覧会を開催する。	各企画展 入場者2,000人以上	1 文化芸術に親しむ場づくり	(1)誰もが文化芸術に親しめる環境の充実	①誰もが文化芸術に親しむ機会の創出	維持・推進	(H2 ～)	企画展入場者数 各2,000人以上	春季企画展4,441人 夏季企画展11,925人 秋季企画展5,416人	A(80%以上達成)	22976	企画展の入場者数は目標値を超えることができた。また、有料観覧者数も2,000人を超えていた。
33	市民部	歴史博物館	「れきはく講座」の開催	大津の歴史・文化の調査・研究成果の市民への還元	年10～20回、学芸員や外部講師による、大津の歴史・文化をテーマにした講演会や現地見学会を開催する。	各回80人	1 文化芸術に親しむ場づくり	(1)誰もが文化芸術に親しめる環境の充実	①誰もが文化芸術に親しむ機会の創出	維持・推進	(H2 ～)	年間40回	年間48回	A(80%以上達成)	360	講座のみならずワークショップやギャラリートーク、現地見学会など多様なイベントを開催できた。
34	市民部	歴史博物館	夏休みワークショップの開催	地元大学との協働による博学連携事業の推進と親子の歴史への興味関心喚起	地元大学との連携による夏休みの子ども向けワークショップの企画立案・実施	大学学生約20人、ワークショップ参加者のべ約240人	2 文化芸術を支える人づくり	(2)未来の担い手を担う子どもへの文化活動の促進	②子どもが文化芸術を表現する機会の充実	維持・推進	(H14 ～)	参加者数240人	参加者数299人	A(80%以上達成)	500	参加者数は概ね目標通りであったが、おもちゃの種類によって参加者数に偏りが生じた。

第3次大津市文化振興計画 進捗状況調査票

番号	部局	所属	事業名	目的	事業概要	事業規模 (入場者数、スタッフの数等) ※令和3年度時点で聞き取った内容です。	計画との関連			令和6年度							
							基本目標	施策	主な取り組み	実施状況	始期、終期(予定)	目標	実績	評価	事業費(千円)	成果と課題、令和6年度の取組内容	
35	市民部	歴史博物館	大津の歴史データベースの公開	大津の文化財や歴史に関する知識の普及	ホームページ上で公開することで、誰でも気軽に大津の歴史を学べ、調べることができる環境を整える	年間10件更新	1 文化芸術に親しむ場づくり	(2)豊かな歴史文化資源の調査研究と保存・活用	①歴史文化資源の調査・研究による価値の明確化	維持・推進	(R4 ～)	年間10件新規記事更新	11件更新	A(80%以上達成)	693	更新件数は概ね目標通りであったが、更新記事が「歴博だより」や報告書など偏りが生じた。 なお、X(旧Twitter)、Instagramで月約15件投稿し、情報発信を行っている。	
36	市民部	文化財保護課	文化財の指定	歴史文化遺産を調査し、情報の収集	未指定文化財を調査し、大津市文化財保護審議会の審議を経て、大津市の指定文化財に指定する。	市指定 : 161件	1 文化芸術に親しむ場づくり	(2)豊かな歴史文化資源の調査研究と保存・活用	①歴史文化資源の調査・研究による価値の明確化	維持・推進	(S40 ～)					0	・令和6年度については市指定文化財の新規指定はなかったが、田上地域の葉の花漬けなど、未指定文化財の調査を継続して行った。
37	市民部	文化財保護課 埋蔵文化財調査センター	遺跡や埋蔵文化財に関する学習機会の提供	・多くの人々の、埋蔵文化財への関心を高め、理解を深めてもらう。 ・中学生向け副読本を作成し、大津市の歴史や文化に興味関心を持ってもらう。	・埋蔵文化財を適切に整理・収蔵するとともに、各種講座・遺跡見学会や展覧会を開催する。 ・中学生向けの副読本として作成している「大津市の歴史文化―未来に伝える15の物語―」を配布	・埋蔵文化財調査センター来館者(1,839人／R4年) ・市内中学1年生に配布	1 文化芸術に親しむ場づくり	(1)誰もが文化芸術に親しめる環境の充実	①誰もが文化芸術に親しむ機会の創出	維持・推進	(R3 ～)	埋蔵文化財調査センター来館者数 1,700人	・埋蔵文化財調査センター来館者2,494人 ・『大津市の歴史文化』配布:3,000部	A(80%以上達成)	6,712	・宅地開発などに伴い埋蔵文化財発掘調査を実施しているが、出土品が毎年増え続けており、現地調査後の早急な整理と報告書の刊行、公開、資料の適切な収蔵・保管が求められている。 ・市内中学生を対象に3,000冊配布した。	
38	都市計画部	都市計画課	絵画展の開催(景観絵画展)	美しい古都大津の景観を守り育て、次代に引き継ぐことを目的とした景観形成の推進に対する市民意識の高揚を目指す	大津の景観について、小学生3年以下、中学生以下及び一般の部に分け、絵画作品を広く募集する。	選考会(1日) 表彰式(1日) 展示会(10日間)	2 文化芸術を支える人づくり	(2)未来の担い手を担う子どもへの文化活動の促進	②子どもが文化芸術を表現する機会の充実	維持・推進	(H15 ～)		応募作品数:915点	A(80%以上達成)	1,025	過去最多の応募数となった令和5年度よりは少なかったが、幅広い世代からの応募があり、2番目に多い応募数となった。受賞作品の展示、表彰を行うとともに、投票で選ばれた作品のブックカバーを作成し、市内書店に配布した。	
39	都市計画部	都市計画課	地域固有の歴史・文化遺産発信事業(副読本、文化遺産マップなどの作成)	地域の歴史や文化遺産を知ってもらう機会の創出。 歴史まちづくりに関する市民意識の向上。 市域全域の歴史的風致の維持向上。	地域で歴史に関する研究、発表を行っている団体等が作成した地域の歴史に関する副読本や文化遺産マップなどを製本、印刷する。	2団体程度(年間)	3 文化芸術を活性化させる仕組みづくり	(1)文化芸術活動の情報発信	①地域文化、歴史文化や担い手等の文化芸術情報の発信	維持・推進	(R3 ～)		応募数:3件	A(80%以上達成)	208	令和6年度は6月の募集に加え、12月に二次募集を実施し、計3件のマップを印刷した。	
40	都市計画部	都市計画課	地域の人材活躍の支援	歴史まちづくりに対する地域住民の機運を高める。 各地域で活動されている団体間の連携を深め、今後の更なる活動に役立てる。	地域での観光ボランティアガイドや歴史に関する研究、発表を行っている個人や団体に対して、団体間の交流会や歴史に関する知見をさらに深めてもらうための勉強会や情報発信を行う。	勉強会の開催(随時) PR動画、デジタルマップ、パネルの作成・活用(随時)	2 文化芸術を支える人づくり	(1)文化芸術の担い手、つなぎ手の育成・支援	①文化芸術を担う人材、団体の育成・支援	維持・推進	(R3 ～)	動画作成:約30動画 パネル展示:3回 まちあるき開催:1回 参加者:17	A(80%以上達成)	5,990	令和4年度から6年度にかけて、大津の歴史・文化を1本約90秒で学べる動画「大津歴まち90秒大学」を作成した。計60本となった動画は市のYouTubeチャンネルで公開しており、令和7年1月時点で、総再生回数は13,000回以上となった。市の広報誌やびわ湖放送でのCM放送により周知を図り、その結果、ロンドンで開催された大津祭の再現イベントや、令和7年度大津市20歳のつどいなどで活用希望があり、現在4者から動画の使用申請を受けた。 歴史的風致維持向上計画について周知啓発するパネルの展示会を3つの重点区域(大津百町、坂本、堅田)で開催した。 立命館大学理工学部環境都市工学科のまちづくり演習で、大津百町エリア部会にまちあるき講師依頼があり、10月16日と21日の2日に分けて、学生17名に大津百町エリアのまちあるきを実施した。		
41	都市計画部	都市計画課	大津まちなか大学の開催	まちづくりの中核を担う人材を育成。	同大学には、大津を訪れる人に大津百町の魅力を伝え、積極的に発信できる人材の育成を目的にした「歴まちガイド育成学部」と、大津祭を学び、体験することを通じて先人の知恵と気質を継承していく人材の育成を目的とした「大津祭学部」があり、それぞれの学部でまち歩き講座やワークショップの開催などを行う。	歴まちガイド学部(年間) 15人程度 × 5回 大津祭学部(年間) 25人程度 × 9回	2 文化芸術を支える人づくり	(1)文化芸術の担い手、つなぎ手の育成・支援	①文化芸術を担う人材、団体の育成・支援	維持・推進	おもてなし学部(H30 ～ R4) ガイド育成学部(R5 ～) 大津祭学部(H18 ～)	歴まちガイド育成学部 講座:5回 受講生:11人 大津祭学部 講座:11回 受講生:20人	A(80%以上達成)	41	大津百町エリア部会により、大津まちなか大学歴まちガイド育成学部を開催し、11人受講された。 特定非営利活動法人大津祭曳山連盟により、大津まちなか大学大津祭学部を開催し、20人受講された。		
42	都市計画部	都市計画課	歴史的風致形成建造物への指定と保存のための整備	歴史的風致の維持及び向上のために必要かつ重要と思われる建造物を指定することで、指定文化財の保護とともに、指定文化財以外の歴史的建造物の保護を推進。	大津市歴史的風致維持向上計画の重点区域内に存在する歴史的建造物について、所有者の承諾のもと調査を実施し、歴史的風致形成建造物への指定や保存整備を行う。	随時(年間)	1 文化芸術に親しむ場づくり	(2)豊かな歴史文化資源の調査研究と保存・活用	②歴史文化資源の保存と活用	維持・推進	(R3 ～)	新規指定 大津百町:3件 修理事業 大津百町:2件	A(80%以上達成)	6,393	令和6年10月1日付けで、民間の建造物としては市初となる3件を歴史的風致形成建造物に指定した。うち2件では、令和6年8月1日に新設した大津市歴史的風致形成建造物修理補助金を活用し、建造物の外観修理を実施された。		
43	都市計画部	都市計画課	堅田・坂本まちなみ整備事業補助	歴史的建造物の外観整備を促し、歴史的なまちなみの景観の保全及び形成を図る。	堅田・坂本の対象区域内において、景観に配慮した建造物の外観の整備を行う者に対して、その経費の一部を補助する。	随時(年間)	1 文化芸術に親しむ場づくり	(2)豊かな歴史文化資源の調査研究と保存・活用	②歴史文化資源の保存と活用	維持・推進	(R3 ～)	坂本1件	A(80%以上達成)	319	令和6年度は、坂本重点区域で1件補助を実施した。		
44	都市計画部	都市計画課	町家の利活用の支援	歴史的建造物の保存・活用	歴史的建造物である空き町家の利活用を支援し、町家の新たな利活用を促す。	町家の日in大津(1回) 協力店舗15程度	1 文化芸術に親しむ場づくり	(2)豊かな歴史文化資源の調査研究と保存・活用	②歴史文化資源の保存と活用	維持・推進	(R3 ～)	「町家の日in大津」 3/8～3/16開催 企画:26 町家の悉皆調査:1回	A(80%以上達成)	211	大津百町エリア部会により、町家普及イベントである「3月8日は町家の日in大津2025」を開催し、各町家が趣向を凝らして企画した物販、体験、見学など26の企画を実施した。 令和6年11月初旬から、大津百町エリア部会で大津百町エリアにある町家の悉皆調査を実施した。		
45	都市計画部	都市計画課	重点地区におけるまちなか魅力発掘事業				※地域の人材活躍の支援に統合したため記載せず										
46	都市計画部	都市魅力創造課	公共空間の活用	JR大津駅周辺のまちなかにある広場や公園、道路など公共空間において、官民連携のもと日常的な利活用を促進し、まちに賑わいや憩いの場所を生み出して、地域の魅力を高める。	大津駅前公園等において、和洋様々なフード・ビールなどを取り扱ったキッチンカー等の出店を行う。	年間のうち、8月～翌年3月頃随時。	3 文化芸術を活性化させる仕組みづくり	(2)関連分野、他分野との連携と創造的な文化活動への支援	②他分野(観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業等)との連携	維持・推進	(R2 ～)	なし	利活用日数:延べ74日間 利活用団体数:22団体	B(50～80%達成)	4,479	令和6年度においては、イベント等を成功させるための実践的なセミナーを開催し、出店者やイベントの企画・運営者の発掘、育成を行った。取組の結果、延べ74日間、22団体が大津駅前広場等の公共空間を利活用した。 一方で、冬季に催しがほとんど開催されず、にぎわいが平準化できていないことやイベント主催者や出店者の絶対数が依然として少ないなどの課題が生じた。	
47	環境部	環境政策課	身近な環境市民調査事業	身の周りの自然や環境の状況を実感し、自然環境への意識と関心を高めてもらう。	毎年度決定する1つのテーマに対して、大津市に在住されている方等が調査員となり、分布状況や種類を調査・報告していただく。	調査員310人(今年度実績)	1 文化芸術に親しむ場づくり	(1)誰もが文化芸術に親しめる環境の充実	②誰もが文化芸術を表現する機会の充実	維持・推進	(H2 ～)	参加者:130人	参加者:207人	A(80%以上達成)	233	「ツバメ」を対象に調査を実施した。	
48	環境部	環境政策課	自然家族事業	琵琶湖や田畑、山や川などで事業を実施し、環境を理解し環境に配慮した行動ができる人(環境人)を育てる。	4歳児～小学生とその保護者を対象に、「〇の日」と題した自然体験に参加していただく事業。1年に4事業を2回ずつ、計8回実施。	参加者148人(今年度実績)	2 文化芸術を支える人づくり	(1)文化芸術の担い手、つなぎ手の育成・支援	①文化芸術を担う人材、団体の育成・支援	維持・推進	(H19 ～)	実施回数:8回 参加者:310人	実施回数:8回 参加者:239人	B(50～80%達成)		他事業と一括で外部委託しているため個別の事業費は不明 「里の日①」「里の日②」「里山の日①」「里山の日②」「川の日①」「川の日②」「びわ湖の日①」「びわ湖の日②」の計8回実施した。	
49	環境部	環境政策課	指導者研修会事業	幼児期における環境教育の充実を図ること。	ネイチャーゲーム等の内容を年2回程度実施。	参加者35人(今年度実績)	2 文化芸術を支える人づくり	(1)文化芸術の担い手、つなぎ手の育成・支援	①文化芸術を担う人材、団体の育成・支援	維持・推進	(H20 ～)	研修会満足度:80%以上	100%	A(80%以上達成)	47	大津環境人を育む行動計画に基づき、「ネイチャーゲーム」をプログラムした研修を実施した。	

第3次大津市文化振興計画 進捗状況調査票

番号	部局	所属	事業名	目的	事業概要	事業規模 (入場者数、スタッフの数等) ※令和3年度時点で聞き取った内容です。	計画との関連			令和6年度						
							基本目標	施策	主な取り組み	実施状況	始期、終期(予定)	目標	実績	評価	事業費(千円)	成果と課題、令和6年度の取組内容
50	環境部	環境政策課	大津こども環境探偵団事業	自らの生活の中で環境に積極的に関わり、行動できる「環境人」の育成を目指す。	大津市内の小学3年生～中学3年生(年間登録制)の子どもたちを募集し、環境全般(自然環境、社会環境)にわたる総合的・系統的な体験学習を実施。	参加者50人(今年度実績) ボランティア参加者17人(今年度実績)	2 文化芸術を支える人づくり	(1)文化芸術の担い手、つなぎ手の育成・支援	①文化芸術を担う人材、団体の育成・支援	維持・推進	(H2 ～)	参加者:50人	登録者数:51人	A(80%以上達成)	233	年4回の活動を実施した。参加者の低年齢化、事業を支える側のヒューマンパワー不足が課題である。
51	教育委員会	和邇文化センター	地域文化・歴史の講座、講演会の開催	・主体的な学びを行う団体等への活動の場を提供する。 ・市民の教養の向上、地域の文化の振興に資する。	市民の文化及び教養の高揚並びに芸術の振興に寄与するため貸館をはじめ関連する事業を実施。	ホール収容人数500人(固定席)、会議室収容人数20名 年間入館者数8,432人(R3実績)	1 文化芸術に親しむ場づくり	(1)誰もが文化芸術に親しめる環境の充実	①誰もが文化芸術に親しむ機会の創出	維持・推進	今後も継続	自主事業参加者1,000名 年間入館者10,000人	自主事業参加者1,241名 年間入館者17,722人	A(80%以上達成)	107,801	舞台照明設備を改修し、安心安全で利用者の満足度の向上を図り、多目的で幅広い利活用を促進した。
52	教育委員会	図書館	地域の歴史や文化に関わる情報資源の収集と提供	郷土資料及び行政資料の収集及び利用者への提供を行うことにより、図書館資料を積極的に活用した資料展示やレファレンスをおこなうことで、郷土資料を活用した学びの継続や発展につなげる。	・郷土資料及び行政資料の収集及び利用者への提供 ・収集した郷土及び行政資料の積極的な活用や資料展示 ・学びの継続や発展につなげる資料の収集	郷土資料及び行政資料の所蔵数	3 文化芸術を活性化させる仕組みづくり	(2)関連分野、他分野との連携と創造的な文化活動への支援	②他分野(観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業等)との連携	拡充	今後も継続	市民に提供する郷土資料及び行政資料の所蔵数 郷土資料:30,000冊 行政資料:5,000冊	市民に提供する郷土資料及び行政資料の所蔵数 郷土資料:28,688冊 行政資料:6,622冊	A(80%以上達成)	450千円	・郷土資料及び行政資料の収集及び利用者への提供を行った。 ・収集した郷土及び行政資料の積極的に活用するため、行政等関係機関と連携して資料展示や講座(講演会)を開催した。 ・NHK大河ドラマ等に関連した源氏物語関連講座及びワークショップを開催し、関連する図書等の資料収集及び展示並びに提供を行った。
53	教育委員会	学校教育課	大津市小中学校児童生徒書き初め展	各校においては新年の意欲の喚起と技術練成を兼ねて書き初めを課し、代表作品を一同に集め、広く一般の鑑賞を資するとともに、市内書写教育の発展充実を期する。	小学校1～2年生は硬筆、小学校3年生～中学3年生は毛筆(画仙紙)で提出。 最終日に書写教育部会による学習会の実施。	鑑賞者1,700人 受付スタッフ20人	2 文化芸術を支える人づくり	(2)未来の担い手を担う子どもへの文化活動の促進	①子どもたちが文化芸術に親しむ機会の創出	維持・推進	今後も継続	鑑賞者数:2,000人	鑑賞者数:2,407人	A(80%以上達成)	18	出品された一作品に対して、3世代の家族が鑑賞のために来館されることもあり、実施満足度は非常に高い。出品された子どもたちにとっては、自分の頑張りを認めてもらえる貴重な機会であり、自己肯定感の醸成に有意義な事業といえる。 令和6年度は、鑑賞者数が前年度に比べて微増した。
54	教育委員会	学校教育課	大津の子ども総合美術展	大津市内の幼稚園・小学校・中学校における美術教育の振興を図る。 幼児・児童・生徒が生き生きと表現し、自分の思いを素直に出している作品を一同に集め、広く一般への鑑賞に資する。	立体作品は、県教育美術展における入選作品を展示。 平面作品は、各学校における代表作品を展示。	鑑賞者1,800人 会場責任者28人	2 文化芸術を支える人づくり	(2)未来の担い手を担う子どもへの文化活動の促進	①子どもたちが文化芸術に親しむ機会の創出	維持・推進	今後も継続	鑑賞者数:1,800人	鑑賞者数:2,353人	A(80%以上達成)	62	出品された子どもたちにとっては、自分の頑張りを認めてもらうことで、自己肯定感の醸成に繋がる有意義な事業といえる。また、保護者にとっても子どもの成長を感じることができる貴重な機会である。 令和6年度も保護者だけではなく、祖父母や地域の方など幅広い世代の方が多く来館され、鑑賞者数は目標値を大きく上回る結果となった。「楽しかった」や「感動した」などの感想を多数いただき、実施満足度の高さを感じられた。
55	教育委員会	学校教育課	学校夢づくりプロジェクト	子どもたちの思いをもとに、地域学校が力を合わせて創意工夫をいかす夢のあるプロジェクトに取り組み、児童生徒が主体的に学び、心豊かに生きていくことができる力の育成を目指す。	学校は、子どもの思いをもとにプロジェクトを計画。実施内容の計画書と予算書を作成し、大津市教育委員会に提出する。	大津市内小中学校全55校	2 文化芸術を支える人づくり	(2)未来の担い手を担う子どもへの文化活動の促進	③地域・学校等と連携した夢が膨らむ文化体験の促進	維持・推進	今後も継続	—	—	A(80%以上達成)	12,902	児童生徒の思いや願いを踏まえた教育活動の意義、重要性の再確認をする機会となった。「連携型」を設けたことにより、地域、民間企業等への積極的な働きかけと協働がなされた。
56	教育委員会	学校教育課	学校夢づくり+(プラス)	作家やトップアスリート等との交流を通じて、子ども達が自分らしい生き方や夢を実現するための力を育成する。	【作家との交流】 一般社団法人ホンミライ及び本県本市にゆかりのある作家等と連携し、言葉や表現などのプロによる、本の魅力や、夢や希望を持つことの大切さについての講話・体験授業を行う。 【トップアスリート交流】 本県本市にゆかりのあるアスリートによる、競技のデモンストレーションや競技人生を通じて得られた経験等の講話を行う。	【作家との交流】全6回 【トップアスリート交流】全6回	2 文化芸術を支える人づくり	(2)未来の担い手を担う子どもへの文化活動の促進	③地域・学校等と連携した夢が膨らむ文化体験の促進	維持・推進	今後も継続	【作家との交流】 講師の話についての満足度:肯定的回答90%以上 【トップアスリートとの交流】 講師の話についての満足度:肯定的回答90%以上	【作家との交流】 講師の話についての満足度:肯定的回答98% 【トップアスリートとの交流】 講師の話についての満足度:肯定的回答97%	A(80%以上達成)	770	【作家との交流】 講演後のアンケートでは98%の児童生徒が「講師の方々の話はよかった」と回答しており、実施満足度は非常に高い。事前事後学習を充実させることで、読書活動の推進や国語科学習の充実が図られた。 【アスリートとの交流】 講演後のアンケートでは、93%の児童生徒が「将来の夢、目標を持つきっかけとなった」と回答しており、実施満足度も非常に高く、本事業が自分らしい生き方や夢の実現につながる事業になっている。今後は、キャリア教育の視点に加えて、運動・スポーツへの興味関心を高める視点も意識した事前事後指導を行い、運動・スポーツへの関心が高めていきたい。
57	教育委員会	学校給食課	食の文化の継承	行事食や伝統料理などの食文化を継承する。	日本各地の郷土料理や、滋賀の産物を使用した料理、外国料理、行事食等を献立に取り入れ、提供する。	郷土料理 : 年11回 滋賀の産物 : 年11回 外国料理 : 年11回 行事食 : 年12回	3 文化芸術を活性化させる仕組みづくり	(2)関連分野、他分野との連携と創造的な文化活動への支援	②他分野(観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業等)との連携	維持・推進	今後も継続		郷土料理 : 年10回 滋賀の産物 : 年11回 外国料理 : 年11回 行事食 : 年12回		1,463,020	年間計画に沿って実施できた。引き続き日本各地の郷土食等の伝統的な食文化の伝承を推進する。また、諸外国の食文化を紹介していく。
58	教育委員会	生涯学習課	公民館・コミュニティセンター貸館事業	主体的な学びを行う市民団体等への活動の場の提供	自主学習グループや市民文化団体等への貸室を行う。(文化振興に関わりの無い利用も含む。)	R2年度実績33館 (利用団体・一般貸館合計) 29,276回 336,728人	1 文化芸術に親しむ場づくり	(1)誰もが文化芸術に親しめる環境の充実	②誰もが文化芸術を表現する機会の充実	維持・推進	(～)	—	R6年度実績20館 (利用団体・一般貸館合計) 25,872回 341,103人	—	—	利用者団体や公民館で活動をする地域団体の高齢化などがありつつも、例年と大きく変わらない実績となった。
59	教育委員会	生涯学習課	公民館・コミュニティセンター講座開催事業	市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。	定期講座、講習会、講演会等を開催する(文化振興に関わりの無いものも含む。)	R2年度実績33館 463講座、8,650人参加	1 文化芸術に親しむ場づくり	(1)誰もが文化芸術に親しめる環境の充実	①誰もが文化芸術に親しむ機会の創出	維持・推進	(～)	—	R6年度実績20館(主催・共催) 774講座、21,737人参加	—	1,636,187円	高齢者向けの体操講座を定期的に実施する館の増加などもあり、実績数増加となった。 今後は、利便性の向上・協力施設の事務負担減を目的として、参観券のペーパーレス化等、より円滑な運用形態を模索していく必要がある。
60	教育委員会	生涯学習課	文化財家族参観事業	文化財に親しむことで、明るい家庭づくり・生涯学習を推進する。	本市在住の家族(者)が、毎月第3日曜日(家族ふれあいサンデー)に、対象社寺において、企業局が発行する『水道・ガス等ご使用量のお知らせ』を提示することで、無料で参観することができる。	対象社寺数:12社寺 来場者数:のべ554組 1,074名(令和3年度上半期)	1 文化芸術に親しむ場づくり	(1)誰もが文化芸術に親しめる環境の充実	①誰もが文化芸術に親しむ機会の創出	維持・推進	(～)		R6年度実績 対象施設12社寺、2施設(歴史博物館、三橋節子美術館) 参加組数 1,512名 参加者数 2,805名		840,000円	昨年度より参加組数、参加者数ともに増加した。今後は、利便性の向上・協力施設の事務負担減を目的として、参観券のペーパーレス化等、より円滑な運用形態を模索していく必要がある。